



桂東社会福祉協議会  
会長 中川 智雄



第23号  
平成30年9月1日  
発行  
桂東社会福祉協議会  
発行責任者 中川 智雄

## 吃驚

秋とはいって、なお残暑厳しい日が続いておりますが、皆様にはご健康にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

日頃は、桂東社協の福祉活動に温かいご理解とご支援を賜り心から感謝いたします。

特に平成二十九年度の賛助会員の募集に際しましては、学区民の多くの方々や企業（法人）団体様から温かいご賛同をいただき、総額「六十九万円」のご厚志を賜り、ご協力に感謝し心から厚く御礼申し上げます。

早速、区社協に納め、今年度の事業に有意義に使わせていただいております。抜粋して列挙します。

今年は、様々な「びっくり」の年です。

□ 人口が今より4割以上減少とともに、やって来るのは更なる高齢化だ。

- 一、宇宙航空研究開発機構の探査機「はやぶさ2」小惑星に到着ユネスコ禁教下信仰を評価する。
- 一、世界遺産「潜伏キリシタン」東京湾に鯨が姿見せる。
- 一、初めて六月に関東早くも梅雨明ける。
- 一、サッカーのワールドカップ、8強逃す。
- 一、京都市の牛肉消費量は全国一位、和食文化が花開いた歴史都市というイメージとギャップがある。
- 一、あと三十年もしないうちに

- イ、政府の地震調査委員会が公表した南海トラフ巨大地震の発生確率は、毎年上昇すると予測している。

このような最中にある今、地域福祉活動の担い手が高齢化する一方で、新たな活動の担い手が追い付かず、高齢者が高齢者をサポートする状況が見られるようになります。私たち役員も高齢化し、地域活動に苦慮していますが、役員とボランティア一同は、力を合わせて福祉事業に取り組んで参ります。今後も一層のご支援とご協力の程お願い申し上げます。

## 平成30年度 事業実施計画 (9月以降の行事予定)

実施予定月日	事業内容
9月 1日 (土)	広報誌「桂東ふれあいだより」第23号発行
9月 7日 (金)	第3回健康すこやか教室と昼食会
9月27日 (木)	第3回「桂東サロン」御靈神社
10月 3日 (水)	寝具クリーニングサービス A・B地域
10月 4日 (木)	寝具クリーニングサービス C・D・E地域
10月12日 (金)	第2回配食サービス
10月19日 (金)	第2回健康すこやか体操
10月25日 (木)	第4回「桂東サロン」御靈神社
10月26日 (金)	秋の1日レクリエーション 第1班
11月 9日 (金)	秋の1日レクリエーション 第2班
11月29日 (木)	第5回「桂東サロン」御靈神社
12月 7日 (金)	第4回健康すこやか教室と昼食会
12月23日 (日)	年末友愛訪問
1月11日 (金)	第5回健康すこやか教室と昼食会
1月 未 定	小学生との交流会
2月 1日 (金)	第3回配食サービス
2月15日 (金)	第6回健康すこやか教室と昼食会
2月中	平成30年度 賛助会員（賛助会費）の募集
3月 8日 (金)	第4回配食サービス
3月15日 (金)	第3回健康すこやか体操
3月28日 (木)	第6回「桂東サロン」御靈神社
開催場所	北川文化ホール 午前10時～ ・健康すこやか教室と昼食会 ・健康すこやか体操 御靈神社 社務所 午前10時～ ・桂東サロン

## 平成30年度 ボランティア総会

平成30年度 桂東社会福祉協議会（ボランティア総会）は、4月26日（木）午前10時より、北川文化ホールにて出席者22名（来賓3名を含む）の下に開催されました。

中川会長の挨拶に始まり、「桂東自治連合会」小石会長、「西京区社会福祉協議会」上野事務局長、北川顧問よりご挨拶をいただきました。

議事に入り、平成29年度事業報告及び収支決算報告が原案通り承認されました。

次に平成30年度事業実施計画案及び平成30年度予算案が提案され、何れも原案通りに承認され、役員の交代に伴う新役員の紹介と挨拶を経て、議事は滞りなく終了しました。



## 新任 事務局次長 山倉 博

御靈神社の総代として五年、そのご縁で社協のお手伝いをさせていただくことになりました。神社での掃除から、地域との関わりが私なりに少しききましたが、この社会福祉という別の大きな人の関わりに、親の介護の経験を活かしてお役に立てればと思っております。お手伝いする中で感じる地域の繋がりの大切さに反比例して、少子化や高齢化による地域活動への参加者の減少が気になります。地道な努力をされてきた役員の方々の思いを受けて次の世代に何とか繋げられたらという思いです。身边に起るようになつた災害の危険性が、更なる繋がりの尊さを感じるものです。

「岡本正晴」副会長の退任に伴い、その後任として指名を受けました「松岡誠二」と申します。急速に少子高齢化が進む時代に入り、とりわけ高齢者のサポートは、以前にも増して地域で支え合う体制の充実が望されます。そのような時期において、福祉関係者やボランティア方々の協力を得ながら、微力ではあります。が、地域のお役に立てる様に努めて参る所存です。何卒、宜しくお願い申し上げます。

## 新任 副会長

松岡誠二

